

令和6事業年度

財 務 諸 表

第 14 期

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

学校法人 沖縄科学技術大学院大学学園

独立監査人の監査報告書

令和7年6月17日

学校法人沖縄科学技術大学院大学学園

理 事 会 御 中

EY新日本 有限責任監査法人

沖 縄 事 務 所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

田島 昇

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

藤本 庸介

監査意見

当監査法人は、沖縄科学技術大学院大学学園法(以下、「学園法」という。)第12条第2項の規定に基づく監査報告を行うため、平成23年11月1日付け内閣府通知第525号に基づき、学校法人沖縄科学技術大学院大学学園の令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)の財務諸表、すなわち貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、利益の処分に関する書類、業務実施コスト計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細書について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、沖縄科学技術大学院大学学園の会計の基準(平成23年内閣府令第59号第6条)に準拠して、学校法人沖縄科学技術大学院大学学園の令和7年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の運営状況、キャッシュ・フローの状況及び業務実施コストの状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、学校法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、沖縄科学技術大学院大学学園の会計の基準(平成23年内閣府令第59号第6条)に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、理事者は、継続法人の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、継続法人に関する事項を記載する必要があると判断した場合には、当該事項を記載する。

監事の責任は、学校法人の財務報告プロセスの整備及び運用における理事の業務執行の状況を監視することにある。

財務諸表の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続法人を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続法人の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続法人の前提に関する注記が付されている場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、学校法人は継続法人として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、沖縄科学技術大学院大学学園の会計の基準（平成23年内閣府令第59号第6条）に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

学校法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

目 次

貸借対照表	…	1
損益計算書	…	2
キャッシュ・フロー計算書	…	3
利益の処分に関する書類	…	4
業務実施コスト計算書	…	5
注記事項	…	6
附属明細書	…	9

- 1 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(「第40特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)の明細並びに減損損失の明細
- 2 たな卸資産の明細
- 3 無償使用国有財産等の明細
- 4 PFIの明細
- 5 退職給付引当金の明細
- 6 抛出金及び抛出剰余金の明細
- 7 積立金の明細
- 8 業務費及び一般管理費の明細
- 9 運営費補助金等の明細
- 10-1 施設整備費補助金等の明細
- 10-2 補助金等の明細
- 11 役員及び教職員の給与の明細
- 12 開示すべきセグメント情報
- 13 寄附金の明細
- 14 受託研究の明細
- 15 共同研究の明細
- 16 主な資産、負債、費用及び収益の明細
- 17 関連公益法人等に関する明細

貸 借 対 照 表

(令和7年3月31日)

(単位:円)

資産の部			
I 固定資産			
1 有形固定資産			
土地		1,659,667,000	
建物	77,332,833,048		
減価償却累計額	-26,680,020,145	50,652,812,903	
構築物	10,345,644,092		
減価償却累計額	-3,731,627,706	6,614,016,386	
機械及び装置	229,792,783		
減価償却累計額	-222,967,074	6,825,709	
工具、器具及び備品	35,750,342,020		
減価償却累計額	-28,745,560,813	7,004,781,207	
図書		14,829,535	
車両運搬具	34,842,410		
減価償却累計額	-23,157,796	11,684,614	
リース資産	1,078,866,876		
減価償却累計額	-1,078,866,876	0	
建設仮勘定		1,522,959,327	
有形固定資産合計		67,487,576,681	
2 無形固定資産			
特許権		101,434,915	
商標権		2,255,313	
ソフトウェア		52,154,426	
工業所有権仮勘定		131,973,223	
その他無形固定資産		9,696,497	
無形固定資産合計		297,514,374	
3 投資その他の資産			
長期性預金		200,000,000	
敷金保証金		775,000	
長期前払費用		9,994,422	
リース投資資産		4,564,753,537	
投資その他の資産合計		4,775,522,959	
固定資産合計			72,560,614,014
II 流動資産			
現金及び預金		8,456,492,218	
未収入金		1,564,034,651	
たな卸資産		47,304,203	
前払費用		73,663,252	
リース投資資産		167,685,424	
その他流動資産		167,356	
流動資産合計			10,309,347,104
資産合計			82,869,961,118
負債の部			
I 固定負債			
資産見返補助金等		13,387,664,085	
資産見返寄附金		122,560,255	
資産見返物品受贈額		3,982,982	
退職給付引当金		156,575,800	
長期未払金		4,593,872,995	
その他固定負債		3,810,770,535	
固定負債合計			22,075,426,652
II 流動負債			
前受金		280,179,779	
授業料債務		10,340,000	
預り補助金等			
預り運営費	339,690,925		
預り施設整備費	1,308,044,569	1,647,735,494	
預り寄附金		255,914,722	
預り科学研究費補助金等		273,786,066	
預り金		1,050,183,380	
未払金		6,066,463,740	
未払費用		93,774,979	
その他流動負債		108,879,156	
流動負債合計			9,787,257,316
負債合計			31,862,683,968
純資産の部			
I 拠出金			
拠出金		24,317,681,264	
拠出金合計			24,317,681,264
II 拠出剰余金			
拠出剰余金		48,490,884,447	
損益外減価償却累計額(-)		-25,640,829,445	
拠出剰余金合計			22,850,055,002
III 利益剰余金			
任意積立金			
別途積立金		230,532,854	
当期末処分利益		3,609,008,030	
(うち当期総利益)	(-370,678,958)
利益剰余金合計			3,839,540,884
純資産合計			51,007,277,150
負債純資産合計			82,869,961,118

損 益 計 算 書

(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

(単位:円)

経常収益			
授業料収益		143,235,000	
運営費補助金等収益		16,905,524,943	
施設費収益		236,552,522	
受託研究等収入(国又は地方公共団体)		22,719,883	
受託研究等収入(国又は地方公共団体以外)		1,166,196,323	
共同研究収入		202,270,747	
寄附金収益		58,099,437	
補助金等収益		255,489,618	
宿舍料等収入		10,448,355	
土地建物賃貸料収入		20,255,632	
資産見返補助金等戻入		2,766,404,185	
資産見返寄附金戻入		60,323,210	
財務収益			
受取利息	96,868,368		
その他財務収益	1	96,868,369	
雑益		398,377,747	
経常収益合計		22,342,765,971	
経常費用			
業務費			
人件費	7,887,063,093		
経費			
研究資材費	1,152,119,294		
備品費及び消耗品費	399,460,793		
水道光熱費	1,522,376,218		
旅費交通費	821,292,042		
通信運搬費	61,525,680		
賃借料	529,859,890		
業務委託費	782,668,430		
修繕費	602,425,166		
保守管理費	2,165,311,798		
図書費	268,798,212		
減価償却費	3,221,876,161		
その他の業務経費	187,197,966	11,714,911,650	19,601,974,743
一般管理費			
人件費	1,540,518,883		
経費			
備品費及び消耗品費	40,515,866		
旅費交通費	144,603,228		
通信運搬費	45,921,110		
賃借料	54,654,014		
業務委託費	420,799,276		
役務費	85,402,396		
広告費	19,936,389		
減価償却費	46,691,494		
租税公課	300,214,279		
その他の管理経費	231,564,459	1,390,302,511	2,930,821,394
財務費用			
支払利息	104,012,310		
為替差損	5,916,918		
その他財務費用	19,657	109,948,885	
経常費用合計		22,642,745,022	
経常損失		△ 299,979,051	
臨時利益			
資産見返補助金等戻入		124	
資産見返寄附金戻入		5,743,637	
固定資産売却益		473,533	
臨時利益合計		6,217,294	
臨時損失			
固定資産除却損		5,743,763	
補助金返還額		70,074,337	
過年度損益修正損		1,099,101	
臨時損失合計		76,917,201	
当期純損失		△ 370,678,958	
当期総損失		△ 370,678,958	

キャッシュ・フロー計算書

(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

(単位:円)

I	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	授業料収入	143,235,000
	運営費補助金等収入	20,737,755,099
	受託研究等収入	1,400,968,726
	寄附金収入	257,200,015
	補助金等収入	1,012,631,146
	宿舍料等収入	10,372,882
	その他業務収入	514,556,701
	預り科学研究費補助金等の受払	102,745,124
	人件費支出	-9,385,661,799
	たな卸資産取得による支出	-8,592,848
	その他業務支出	-9,569,111,253
	業務活動によるキャッシュ・フロー	5,216,098,793
II	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	-6,344,187,681
	有形固定資産の売却による収入	473,533
	無形固定資産の取得による支出	-56,812,527
	施設整備補助金等による収入	3,476,369,703
	その他	-157,304,634
	小計	-3,081,461,606
	利息及び配当金の受取額	7,313
	投資活動によるキャッシュ・フロー	-3,081,454,293
III	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	ファイナンス・リース債務の返済による支出	0
	財務活動によるキャッシュ・フロー	0
IV	資金に係る換算差額	-5,936,574
V	資金増加額	2,128,707,926
VI	資金期首残高	6,327,784,292
VII	資金期末残高	8,456,492,218

利益の処分に関する書類

(令和7年3月31日)

(単位:円)

I 当期末処分利益	
当期総損失	△ 370,678,958
前期繰越利益	4,029,686,988
II 利益処分額	
別途積立金	50,000,000
III 次期繰越利益	<u>3,609,008,030</u>

注) 令和7年5月に開催された第51回理事会において、令和6年度に次期繰越利益のうち5千万円を宿舎大規模修繕のための修繕積立金(別途積立金)として利益処分することを決議しております。

業務実施コスト計算書

(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

(単位:円)

I 業務費用

(1) 損益計算書上の費用

業務費	19,601,974,743	
一般管理費	2,930,821,394	
財務費用	109,948,885	
臨時損失	76,917,201	22,719,662,223

(2) (控除) 自己収入等

授業料収益	△ 143,235,000	
受託研究収入	△ 1,188,916,206	
共同研究収入	△ 202,270,747	
寄附金収益	△ 58,099,437	
宿舍料等収入	△ 10,448,355	
土地建物賃借料収入	△ 20,255,632	
資産見返寄附金戻入	△ 66,066,847	
財務収益	△ 96,868,369	
雑益	△ 314,564,478	△ 2,100,725,071

業務費用合計	20,618,937,152
--------	----------------

II 損益外減価償却相当額	2,496,690,257
---------------	---------------

III 引当外退職給付増加見積額	2,103,100
------------------	-----------

IV 機会費用

国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による 貸借取引の機会費用	162,415,788	
政府拠出等の機会費用	705,612,997	868,028,785

V 業務実施コスト	23,985,759,294
-----------	----------------

注記事項

I. 重要な会計方針

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法に基づく低価法

2. 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

また、特定の償却資産(沖縄科学技術大学院大学学園会計基準 第40)の減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として、抛出現金から控除して表示しております。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間(5年)に基づいております。

3. 引当金の計上基準

(1) 退職給付引当金

役員及び教職員の退職給付に備えるため、当該事業年度における期末要支給額を計上しております。

4. 業務実施コスト計算書における機会費用等の計上方法

(1) 国又は地方公共団体の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算

恩納村分屯基地・農地単価を基に計算しております。

(2) 政府抛入金等に係る機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の令和7年3月末利回りを参考に1.485%で計算しております。

5. 外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

6. リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

ただし、ファイナンス・リース取引のうちリース料総額が300万円未満の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

7. 収益及び費用の計上基準

(1) ファイナンス・リース取引(貸主側)に係る収益の計上基準

売上高を計上せず利息相当額を各期へ配分する方法によっております。

(2) 教育研究等のサービスの提供に係る収益

本学が提供する教育研究等のサービスに係る収益として、授業料収益、受託研究等収入、共同研究収入があります。

授業料収益については、当事業年度の授業料として受領した対価を収益として認識しております。受託研究等収入及び共同研究収入については、複数年度契約の場合は、契約の最終年度以外では当該研究等のための費用化額を限度として収益を認識し、契約の最終年度では契約上の対価のうち未収益化額を収益として認識しております。

8. 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっております。

II. 追加情報

1. ビレッジゾーン宿舎の取引概要及び会計処理

当学園は、平成23年9月30日付で、OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE株式会社(以下、事業者)と宿舎整備事業に関する契約を締結致しました。事業者は、当該契約に基づき、当学園の保有する敷地内に教職員及び学生のための宿舎を建設し、完工後当学園に宿舎を譲渡いたします。宿舎の建設は、フェーズ1(第1期～第3-2期)に渡り、平成27年度においては第3-2期分が完成し、当学園に引き渡しが行われております。フェーズ2として当学園は、令和元年6月11日付で、OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE II株式会社(以下、事業者)と宿舎整備事業に関する契約を締結し、令和2年度にヒルサイド及びサウスヒルA・B・Cの宿舎の完成及び引渡が行われております。当学園は、宿舎の完成に際し、事業者より、長期割賦購入で譲り受けると同時に、事業者と定期建物賃貸借契約を締結し宿舎を賃貸しております。宿舎の賃貸に係るリース料と宿舎の譲受に係る長期割賦購入額は同額となっており、且つ支払スケジュール及び利息を含む各年度の支払額も同額で設定されているため、各年度の支払額は相殺されお互いの支払は発生しません。そして、定期建物賃貸借契約において、事業者は原則として中途解約が出来ない旨、及びリース期間満了後は宿舎を当学園に返還する旨を定めており、当学園は、事業者への賃貸取引について、所有権移転外ファイナンスリース(貸主側)による会計処理を実施しております。尚、所有権移転外ファイナンスリース(貸主側)による会計処理の実施に際しては、売上高を計上せず利息相当額を各期へ配分する方法によっており、譲り受けた宿舎をリース投資資産に計上しております。当学園は、フェーズ3として令和元年3月29日付で、OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE III株式会社(以下、事業者)と宿舎整備事業に関する契約を締結し、令和3年度にThe Gardens宿舎の引渡が行われています。当学園は、宿舎の完成に伴い、事業者より宿舎を譲り受けると同時に、当該宿舎に運営権を設定し事業者に譲渡しております。建物の取得対価と運営権の譲渡対価は同額であり、支払い額は相殺されお互いの支払いは発生しません。譲り受けた宿舎は建物に計上し、譲渡した運営権の対価はその他固定負債に計上しております。建物およびその他固定負債は、契約期間にわたり、減価償却費の計上、その他雑益への振替を行っております。

III. 貸借対照表関係

1. 預り補助金等の内訳

(1) 預り運営費

学園取得の建設仮勘定見返運営費補助金等残高	207,717,702 円
学園取得の工業所有権仮勘定見返運営費補助金等残高	131,973,223 円
期末残高	339,690,925 円

(2) 預り施設整備費

学園取得の建設仮勘定見返施設費残高	1,308,044,569 円
期末残高	1,308,044,569 円

IV. キャッシュ・フロー計算書関係

(1) 資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	8,456,492,218 円
資金期末残高	8,456,492,218 円

(2) 重要な非資金取引の内容

当期新たに計上したファイナンス・リース(借手側)に係るリース資産の額	0 円
当期新たに計上したファイナンス・リース(借手側)に係るリース債務の額	0 円

V. 業務実施コスト計算書関係

引当外退職給付増加見積額には、国等からの出向職員に係るものが、2,103,100円含まれております。

VI.ファイナンス・リース取引に関する注記

1. 借手側

(1) リース資産の内容

業務車両(OISTバス)及び研究機器(X線光電子分光分析装置等)

(2) リース資産の減価償却の方法

＜所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産＞

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。

＜所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産＞

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

2. 貸手側

(1) リース投資資産の内訳

①投資その他の資産

リース料債権部分	5,603,534,349 円
受取利息相当額	△ 1,038,780,812 円
リース投資資産	4,564,753,537 円

②流動資産

リース料債権部分	261,117,145 円
受取利息相当額	△ 93,431,721 円
リース投資資産	167,685,424 円

(2) リース投資資産に係るリース料債権部分の決算日後の回収予定額

①投資その他の資産

(単位:円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
リース料債権部分	-	261,349,249	261,586,776	261,829,858	262,078,620	4,556,689,846

②流動資産

(単位:円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
リース料債権部分	261,117,145	-	-	-	-	-

VII.重要な後発事象

該当事項はありません。

附属明細書

1. 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費（「第40特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）の明細並びに減損損失の明細

(単位:千円)

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額		差引 当期末残高	摘要	
					当期償却額	当期償却額	当期損益内	当期損益外			
有形固定資産 (償却費損益内)	建物	15,144,436	1,163,020	2,397	16,305,059	4,734,190	652,926	-	-	11,570,868	
	構築物	488,334	61,618	4,037	545,916	289,225	18,872	-	-	256,691	
	機械装置	186,711	-	-	186,711	184,240	754	-	-	2,470	
	工具器具備品	32,675,288	3,205,660	488,745	35,392,203	28,532,400	2,539,576	-	-	6,859,803	
	図書	13,932	905	8	14,829	-	-	-	-	14,829	
	車両運搬具	25,813	12,021	2,992	34,842	23,157	336	-	-	11,685	
	リース資産	1,240,287	-	161,421	1,078,866	1,078,866	-	-	-	-	
	計	49,774,805	4,443,225	659,601	53,558,430	34,842,082	3,212,466	-	-	18,716,348	
有形固定資産 (償却費損益外)	建物	57,516,208	3,511,565	-	61,027,773	21,948,829	2,148,526	-	-	39,081,944	
	構築物	9,638,682	161,045	-	9,799,727	3,442,402	311,893	-	-	6,357,325	
	機械装置	43,080	-	-	43,080	38,726	2,886	-	-	4,354	
	工具器具備品	302,800	56,157	820	358,138	213,160	33,352	-	-	144,977	
	計	67,500,771	3,728,768	820	71,228,720	25,640,118	2,496,659	-	-	45,588,602	
非償却資産	土地	1,659,667	-	-	1,659,667	-	-	-	-	1,659,667	
	建設仮勘定	853,251	5,626,527	4,956,819	1,522,959	-	-	-	-	1,522,959	
	計	2,512,918	5,626,527	4,956,819	3,182,626	-	-	-	-	3,182,626	
有形固定資産合計	土地	1,659,667	-	-	1,659,667	-	-	-	-	1,659,667	
	建物	72,660,644	4,674,585	2,397	77,332,833	26,680,020	2,801,453	-	-	50,652,812	
	構築物	10,127,016	222,664	4,037	10,345,644	3,731,627	330,765	-	-	6,614,016	
	機械装置	229,792	-	-	229,792	222,967	3,640	-	-	6,825	
	工具器具備品	32,978,089	3,261,817	489,565	35,750,342	28,745,560	2,572,929	-	-	7,004,781	
	図書	13,932	905	8	14,829	-	-	-	-	14,829	
	車両運搬具	25,813	12,021	2,992	34,842	23,157	336	-	-	11,685	
	リース資産	1,240,287	-	161,421	1,078,866	1,078,866	-	-	-	-	
	建設仮勘定	853,251	5,626,527	4,956,819	1,522,959	-	-	-	-	1,522,959	
計	119,788,495	13,798,522	5,617,240	127,969,777	60,482,200	5,709,125	-	-	67,487,576		
無形固定資産 (償却費損益内)	特許権	238,748	14,336	-	253,085	151,650	29,444	-	-	101,434	
	商標権	1,451	2,133	-	3,585	1,330	86	-	-	2,255	
	ソフトウェア	1,213,555	7,158	-	1,220,713	1,168,559	23,365	-	-	52,154	
	その他無形固定資産	64,081	-	-	64,081	54,385	3,205	-	-	9,696	
	計	1,517,837	23,628	-	1,541,466	1,375,925	56,101	-	-	165,541	
無形固定資産 (償却費損益外)	その他無形固定資産	711	-	-	711	711	31	-	-	-	
非償却資産	工業所有権仮勘定	102,896	53,061	23,985	131,973	-	-	-	-	131,973	
無形固定資産合計	特許権	238,748	14,336	-	253,085	151,650	29,444	-	-	101,434	
	商標権	1,451	2,133	-	3,585	1,330	86	-	-	2,255	
	ソフトウェア	1,213,555	7,158	-	1,220,713	1,168,559	23,365	-	-	52,154	
	工業所有権仮勘定	102,896	53,061	23,985	131,973	-	-	-	-	131,973	
	その他無形固定資産	64,792	-	-	64,792	55,096	3,236	-	-	9,696	
	計	1,621,445	76,690	23,985	1,674,150	1,376,636	56,132	-	-	297,514	
投資その他の資産	長期性預金	150,000	50,000	-	200,000	-	-	-	-	200,000	
	投資有価証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	敷金保証金	775	-	-	775	-	-	-	-	775	
	長期前払費用	13	9,994	13	9,994	-	-	-	-	9,994	
	リース投資資産	4,732,438	-	167,685	4,564,753	-	-	-	-	4,564,753	
	計	4,883,227	59,994	167,698	4,775,522	-	-	-	-	4,775,522	

注) 1. 建物の当期増加額の主な内容 インノベーションコア2関連 1,201,770千円、 インノベーションコア1 1,112,496千円、 sea-neXus関連 945,960千円

2. 構築物の当期増加額の主な内容 インキュベーター関連 132,691千円

3. 工具器具備品の当期増加額の主な内容 300 kVクライオ透過型電子顕微鏡一式 454,300千円、 200 kVクライオ透過型電子顕微鏡一式 335,500千円

4. 建設仮勘定の当期増加額の主な内容 インノベーションコア関連 2,380,876千円、 neXus関連 1,773,863千円、 第2データセンター関連 856,906千円

2. たな卸資産の明細

(単位:千円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・ 製造・振替	その他	払出・振替	その他		
研究資材	35,923	2,199	-	0	-	38,123	
その他	4,724	6,392	-	1,935	-	9,180	
計	40,647	8,592	-	1,935	-	47,304	

3. 無償使用国有財産等の明細

区分	種別	所在地	面積(m ²)	構造	機会費用の金額(千円)	摘要
土地	メインキャンパス	沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919番地	624,751.77	-	160,486	
土地	瀬良垣臨海研究施設	沖縄県国頭郡恩納村字瀬良垣瀬良垣原656番地	7,511.50	-	1,929	
	合計		632,263.27	-	162,415	

4. PFIの明細

事業名	事業概要	施設所有形態	契約先	契約期間	摘要
沖縄科学技術大学院大学 宿舎整備事業	宿舎整備(建設)・維持 管理及び運営	BTO	OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE 株式会社	平成23年9月30日 ～ 令和27年3月31日	第1期:平成24年8月～平成25年1月の間に順次引渡 第2期:平成25年6月引渡 第3-1期:平成26年8月引渡 第3-2期:平成27年8月及び10月引渡
沖縄科学技術大学院大学 宿舎第2期整備運営事業	宿舎整備(建設)・維持 管理及び運営	BTO	OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE II 株式会社	令和元年6月11日 ～ 令和42年3月31日	ヒルサイド:令和2年7月引渡 サウスヒルA:令和2年7月引渡 サウスヒルB:令和2年9月引渡 サウスヒルC:令和2年9月引渡
沖縄科学技術大学院大学 宿舎第3期整備運営事業	宿舎整備(建設)・維持 管理及び運営	BTO	OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE III 株式会社	令和元年3月29日 ～ 令和43年3月31日	The Gardens:令和3年8月引渡

5. 退職給付引当金の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付債務合計額	132,710	23,865	-	156,575	
退職一時金に係る債務	132,710	23,865	-	156,575	
未認識過去勤務債務	-	-	-	-	
未認識数理計算上の差異	-	-	-	-	
年金資産	-	-	-	-	
退職給付引当金	132,710	23,865	-	156,575	

6. 抛出金及び抛出剰余金の明細

(単位:千円)

区分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
抛出金	政府抛出金	24,317,681	-	-	24,317,681	
	計	24,317,681	-	-	24,317,681	
抛出剰余金	抛出剰余金					
	施設費	44,762,935	3,728,768	820	48,490,884	
	計	44,762,935	3,728,768	820	48,490,884	
	損益外減価償却累計額	23,144,959	2,496,690	820	25,640,829	
	差引計	21,617,976	1,232,078	0	22,850,055	

- 注) 1. 施設費の当期増加額は、Sea-neXus 971,259千円等、当期減少額は、鉛貯蔵庫一式の除却による影響 820千円によるものであります。
 2. 損益外減価償却累計額の当期減少額は、鉛貯蔵庫一式の除却による影響 820千円によるものであります。

7. 積立金の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
別途積立金	58,867	-	-	58,867	前法人において独立行政法人会計基準上貸借対照表に計上しない扱いとなっていた退職給付引当金について、学園第1期の貸借対照表期首に要積立額を負債として計上し、当該引当額を学園第1期の学園補助金で措置することにより、要積立額分を収益化したことによるもの。
別途積立金	21,665	-	-	21,665	前法人において独立行政法人会計基準上貸借対照表に計上しない扱いとなっていた賞与引当金について、学園第1期の貸借対照表期首に要積立額を負債として計上し、当該引当額を学園第1期の学園補助金で措置することにより、要積立額分を収益化したことによるもの。
別途積立金	100,000	50,000	-	150,000	宿舍大規模修繕のための修繕積立金。
計	180,532	50,000	-	230,532	

8. 業務費及び一般管理費の明細

(単位:千円)

科目	金額	摘要
業務費		
基本給	6,629,152	
諸手当	321,786	
通勤手当	49,624	
超過勤務手当	34,072	
その他給与	41,891	
退職給付費用	12,863	
法定福利費	797,673	
研究資材費	1,152,119	
備品費	238,818	
消耗品費	160,642	
水道光熱費	1,522,376	
国内旅費	134,227	
外国旅費	339,843	
国内招聘旅費	155,353	
外国招聘旅費	180,470	
国内その他旅費	3,019	
外国その他旅費	8,379	
通信運搬費	61,525	
支払リース料	72,287	
土地建物賃借料	441,255	
その他賃借料	16,316	
福利厚生費	33	
行事費	46,471	
支払手数料	12,595	
諸会費	49,708	
会議費	7,064	
研修費	2,909	
諸謝金	22,487	
業務委託費	782,668	
修繕費	602,425	
保守管理費	2,165,311	
損害保険料	20,321	
広告費	9,929	
建物減価償却費	648,476	
構築物減価償却費	18,791	
機械装置減価償却費	754	
工具器具備品減価償却費	2,528,372	
車両運搬具減価償却費	336	
無形固定資産減価償却費	25,144	
図書費	268,798	
租税公課	3,389	
輸入消費税	9,172	
その他の経費	3,115	
計	19,601,974	
一般管理費		
役員報酬	103,989	
役員通勤手当	178	
基本給	1,071,633	
諸手当	106,175	
通勤手当	29,370	
超過勤務手当	43,591	
その他給与	3,216	
退職給付費用	12,045	
法定福利費	170,319	
研究資材費	17,094	
備品費	3,077	
消耗品費	37,437	
水道光熱費	19,725	
国内旅費	43,098	
外国旅費	15,607	
国内招聘旅費	20,287	
外国招聘旅費	36,731	
国内その他旅費	15,317	
外国その他旅費	13,561	
通信運搬費	45,921	
支払リース料	3,203	
土地建物賃借料	45,684	
その他賃借料	5,765	
福利厚生費	18,215	
行事費	6,853	
支払手数料	38,196	
諸会費	6,867	
会議費	4,342	
研修費	10,215	
報酬	52,768	
諸謝金	32,633	
業務委託費	420,799	
修繕費	2,029	
保守管理費	18,282	
損害保険料	32,507	
広告費	19,936	
特許経費	18,067	
建物減価償却費	4,449	
構築物減価償却費	81	
工具器具備品減価償却費	11,203	
無形固定資産減価償却費	30,956	
図書費	2,481	
租税公課	300,214	
輸入消費税	57	
その他の経費	36,627	
計	2,930,821	

9. 運営費補助金等の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	当期振替額				摘要
		建設仮勘定見返補助金等	工業所有権仮勘定見返補助金等	資産見返補助金等	収益計上	
沖縄科学技術大学院大学 学園補助金	19,278,661	125,487	46,285	2,208,262	16,898,625	
合計	19,278,661	125,487	46,285	2,208,262	16,898,625	

注) 損益計算書の運営費補助金等収益には過年度取得仮勘定からその他の経費へ振替えた6,899千円が含まれております。

10-1. 施設整備費補助金の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定 見返施設費	拠出剰余金	預り施設費	その他	
令和4年12月14日付府沖振第275号 インキュベータ施設整備	1,034,590	-	1,034,097	-	492	
令和4年12月14日付府沖振第276号 第2データセンター施設整備	790,951	790,951	-	-	-	
令和5年4月1日付府沖振第68号 基幹環境整備	497,113	-	332,420	-	164,693	
令和5年11月30日付府沖振第297号 基幹環境整備	550,362	53,350	425,645	-	71,366	
地域中核・特色ある研究大学の連携による 産学官連携・共同研究の施設整備事業	1,773,683	-	1,773,683	-	-	
令和6年10月9日付読谷村指令第226-1号 人材育成施設整備支援事業	6,050	6,050	-	-	-	
計	4,652,750	850,351	3,565,846	-	236,552	

10-2. 補助金等の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		資産見返 補助金等	長期預り 補助金等	収益計上	その他	
沖縄科学技術大学院大学 SDGs 社会課題解決型起業促進事業補助金	22,662	-	-	22,662	-	
令和6年度沖縄型スタートアップ拠点化推進事 業費補助金	9,720	-	-	9,720	-	
令和4年度産学連携推進事業費補助金	792,156	745,739	-	46,417	-	
国立研究開発法人日本医療研究開発機構 医療研究開発推進事業費補助金	25,341	-	-	25,291	49	その他は返還予定額
令和6年度 地域中核大学イノベーション創出 環境強化事業交付金	100,000	-	-	3,000	97,000	その他は繰越額
令和5年度 地域中核・特色ある研究大学強化 促進事業助成金	1,615,000	672,258	-	135,110	807,632	その他は繰越額
特別高圧受電契約事業者支援事業補助金	13,288	-	-	13,288	-	
計	2,578,168	1,417,997	-	255,489	904,682	

11. 役員及び教職員の給与の明細

(単位:千円)

区 分	報酬又は給与		退職給付	
	支給額	支給人員(人)	支給額	支給人員(人)
役 員	(6,800) 97,367	(2) 3	(-) -	(-) -
教 職 員	(49,335) 8,281,177	(32) 1,245	(-) -	(-) -
合 計	(56,135) 8,378,545	(34) 1,248	(-) -	(-) -

注) 1. 役員(含む非常勤役員)報酬及び退職手当の支給基準の概要

沖縄科学技術大学院大学学園「基本方針・ルール・手続き」第34章 給与・報酬 及び 第35章 ベネフィット 等に基づき支給しております。

2. 教職員給与及び退職手当の支給基準の概要

沖縄科学技術大学院大学学園「基本方針・ルール・手続き」第34章 給与・報酬 及び 第35章 ベネフィット 等に基づき支給しております。

3. 報酬又は給与における支給人員数は、年間平均支給人員を記載しております。

4. 損益計算書の人件費の中には、上記給与の他に法定福利費967,992千円が含まれております。

5. ()は、非常勤の役職員に対するもので、外教であります。

6. 上記の支給額には、賞与引当金及び退職給付引当金に係る繰入額は含まれておりません。

12. 開示すべきセグメント情報

(単位:千円)

区分	研究ユニット	研究サービス	教育関連	計	全学園	合計
業務収益						
授業料収益	-	-	143,235	143,235	-	143,235
運営費補助金等収益	7,197,868	5,254,270	1,650,232	14,102,371	2,803,153	16,905,524
施設費収益	-	-	-	-	236,552	236,552
受託研究等収入	1,198,298	101,436	975	1,300,711	90,475	1,391,186
寄附金収益	42,161	3,808	1,489	47,459	10,640	58,099
補助金等収益	18,504	180,604	7,642	206,750	48,739	255,489
資産見返補助金等戻入	987,769	1,734,358	2,387	2,724,515	41,888	2,766,404
資産見返寄附金戻入	57,285	2,891	-	60,177	145	60,323
その他収入	9,628	176,446	6,407	192,481	236,600	429,081
財務収益	70	96,671	-	96,742	126	96,868
小計	9,511,586	7,550,488	1,812,369	18,874,444	3,468,321	22,342,765
業務費用	9,324,989	7,856,483	1,786,462	18,967,936	3,674,808	22,642,745
業務損益	186,597	△305,995	25,906	△93,491	△206,487	△299,979
資産	2,352,416	71,390,958	12,460	73,755,836	9,114,125	82,869,961

(セグメント情報の注記事項)

(1) セグメントの区分方法及び各業務の内容

各業務の内容

研究ユニット	神経科学、分子科学、数学・計算科学の研究開発の推進、研究者養成活動等
研究サービス	研究ユニットの支援業務、研究成果の普及等
教育関連	学生の受入・教育に係る業務等

(2) 業務費用のうち、全学園の項目に含めた配賦不能費用は、主に管理部門に係る下記費用であります。

人件費	1,859,635	千円
その他経費	895,312	千円
業務委託費	420,799	千円

(3) 資産のうち、全学園の項目に含めた資産は、主に下記の通りであります。

現金及び預金	8,456,492	千円
未収入金	16,684	千円

(4) 損益外減価償却相当額及び引当外退職給付増加見積額のセグメント別金額は下記の通りであります。

(単位:千円)

	研究ユニット	研究サービス	教育関連	計	全学園	合計
損益外減価償却相当額	-	2,496,690	-	2,496,690	-	2,496,690
引当外退職給付増加見積額	-	-	-	-	2,103	2,103

13. 寄附金の明細

区分	当期受入(千円)	件数(件)	摘要
研究ユニット	193,961	42	現物寄附 35件:12,123千円
研究サービス	5,600	3	現物寄附 0件: 0千円
教育関連	1,324	31	現物寄附 29件: 986千円
全学園	56,112	68	現物寄附 17件: 1,038千円
合計	256,998	144	

14. 受託研究の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期受入額	受託研究等収益	期末残高
研究ユニット	127,707	1,013,115	998,925	141,897
研究サービス	4,832	93,706	98,539	-
教育関連	-	975	975	-
全学園	13,261	95,747	90,475	18,533
合計	145,802	1,203,544	1,188,916	160,430

15. 共同研究の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期受入額	受託研究等収益	期末残高
研究ユニット	140,410	175,421	199,373	116,458
研究サービス	-	2,897	2,897	-
合計	140,410	178,319	202,270	116,458

16. 主な資産、負債、費用及び収益の明細

(1) 現金及び預金の明細

(単位:千円)

内訳	金額
現金	374
普通預金	8,456,117
現金及び預金計	8,456,492
長期性預金	200,000

注) 1. 長期性預金は、宿舎大規模修繕のための修繕積立資金です。

(2) 科学研究費補助金等の明細

(単位:千円)

種目	当期受入額	件数	摘要
基盤研究(A)	(24,300) -	(8) -	
基盤研究(B)	(140,107) 34,170	(36) 34	
基盤研究(C)	(53,150) 15,750	(47) 46	
基盤研究(S)	(2,000) -	(1) -	
挑戦的研究(開拓・萌芽)	(13,450) 4,035	(5) 5	
若手研究	(57,300) 16,755	(34) 34	
特別研究員奨励費	(42,200) 2,520	(47) 8	
研究活動スタート支援	(4,400) 1,320	(4) 4	
国際共同研究加速基金(帰国発展)	(16,900) 5,070	(2) 2	
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	(500) -	(1) -	
国際共同研究加速基金(海外連携研究)	(620) 186	(1) 1	
学術変革領域研究(A)	(123,490) -	(13) -	
学術変革領域研究(B)	(5,200) -	(1) -	
日本学術振興会調査研究費	(1,550) -	(4) -	
笹川科学研究助成金	(1,220) -	(1) -	
内藤記念科学奨励金・研究助成	(3,000) -	(1) -	
内藤記念女性研究者研究助成金	(2,700) -	(2) -	
マツダ研究助成	(750) -	(1) -	
長尾自然環境財団	(2,200) -	(1) -	
イハラサイエンス 中野記念財団 研究助成	(1,000) -	(1) -	
橋渡し研究プログラム	(550) -	(1) -	
スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団助成	(500) -	(1) -	
HFSP研究グラント	(19,336) -	(1) -	
合計	(516,423) 79,806	(214) 134	

注) 1. 当期受入額は、科学研究費補助金等の間接経費相当額を記載しております。また()は、直接経費相当額で外数にて記載しております。

注) 2. 科学研究費補助金等の研究課題

基盤研究(A)

- サンゴ礁で繁栄する褐虫藻共生システムの体系的理解:学際的研究体制によるアプローチ
- 個別化医療の適応的臨床研究を支える統計・機械学習法に関する研究
- 炭素循環におけるバイオミネ랄ゼーションの役割の解明
- 超巨大ブラックホールのスピン測定と磁場を介した回転エネルギー抽出機構の検証
- 超速1分子超解像法による、シグナル経路統合を担う液状ナノ共通シグナル基盤の解明
- 分散性のある大規模量子コンピュータアーキテクチャ
- 統合型沿岸環境解析システム開発に基づくマルチスケール海洋環境動態解析
- 多体励起子の時空間・逆空間イメージングから迫る凝縮体の量子制御

基盤研究(B)

- Imaging trions and their dynamics in momentum space
- Role of Dynein Heavy Chain 3' UTR in the axonal localization and translation of its mRNA
- Visualization of degradation mechanisms and ions migration pathways in perovskite solar cells
- サンゴ共生微生物の代謝産物利用の技術開発に基づいた共生機構の解明
- 刺胞動物の咽頭神経系の発生・生理・機能的解析で迫る集積神経系の進化的起源
- 超対称ランダム行列理論とトポロジー不変量の研究
- 幼少期の社会的音声コミュニケーションが制御する高次機能発達の神経メカニズムの解明
- Fabrication of chiral plasmonic nanogaps by hot electron-induced metal growth for enhanced enantioselective light-matter interactions
- Realization of high-fidelity quantum logic gates using electron spins on superfluid helium
- 造礁サンゴ-褐虫藻共生の生物学的メカニズムのin vitro共生系を駆使した解明
- 前頭眼窩野と内側前頭前野の機能差におけるセロトニンを軸とした神経機構の解明
- 好奇心と記憶が織りなす新奇性追求行動の神経基盤とその可変性
- 解糖系とJunBによる自己免疫性T細胞のクロマチン制御機構の解明と応用
- アリの分類学的・系統的・機能的多様性の地球規模のパターンと脊椎動物との適合性
- Genetic targeting of a synthetic dye for voltage imaging of cerebellar Purkinje neurons during a tongue grasping task
- 繊維構造上で生じる粘弾性流れ: キヤンビー内での弾性乱流
- Structure-guided modular phage engineering
- Unraveling exciton dynamics for valleytronics applications with Time-resolved ARPES
- 細胞膜損傷による細胞老化の分子基盤と個体老化への寄与の理解
- DNA replication dynamics in living bacteria
- マウス初期胚でのCCR4-NOT遺伝子制御複合体の役割
- Unraveling enzyme functions in liquid-liquid phase separation droplets
- 寄主シロアリとの共進化に伴う好白蟻性ハネカクシの多様化
- Adaptation of marine zooplankton to climate change conditions: a multi-omic study of molecular mechanisms.
- 安定電荷を利用した電荷蓄積型有機トシメーターの実現
- 比較神経科学でひも解くREMレム睡眠の共通原理
- 大気中の人為起源二次有機エアロゾル濃度評価に利用可能な新規トレーサの提案
- 皮膚における物体表現の形成 --- 中間層における混合同時選択性と集団符号化
- 二つのらせん部位を有する新奇ナノグラフェンの合成と評価
- Thyroid hormones and Pigmentation pattern evolution in clownfish
- 海洋熱波は生物集団をどう変える? ヤリカの表現型多型決定プロセスの解明
- 高次元大規模最適輸送基盤技術の研究開発
- 日常生活動作の予測に基づく居宅介護ケアプランの最適化手法の確立
- 粒子濃縮層への重力作用を利用した「粒子充填のしやすさ」計測法の実証とミニチュア化
- スマートフォンの携帯通信網を活用したサンゴ産卵の同時多点観測システムの構築
- 将来の不確実性に頑健な保護区導入手法の構築およびその実装

基盤研究(C)

- Accounting for evolutionary and socioeconomic impacts in modern fisheries science and management
- ADHDベアレントレーニングと教師ビデオ教材の普及に向けた橋渡しパイロット研究
- Colloidal-rods for examining polymer dynamics in complex flows
- Development of Nano Gas Sensors Based on Single Atomically Precise Graphene Nanoribbons
- Elucidating the mechanism that measures mitotic duration to prevent proliferation of defective cells
- Fiber-integrated diamond-based whispering-gallery-mode magnetometers
- High-resolution spatiotemporal analysis of harmaline-induced tremor and inferior olive activity in living mice
- KLR algebras and wreath zigzag algebras (KLR 代数とリース ジグザグ代数)
- large benthic foraminifera as a model for eukaryote-eukaryote photosymbiosis
- Mathematical Modeling of Human Neurophysiological Responses as Feedbacks for Generating Naturalistic Robot Behaviour
- Modeling plant adaptation in the context of climate change using genomics and epigenomics of stress tolerant Mangrove trees
- Photoinduced C-H bond fluoroalkylation and aryl-heteroatom coupling catalyzed by naphthyridine complexes of earth-abundant metals
- Role of amygdala in fear and anxiety behaviors.
- Sorting and Imaging Micro- and Nano-Particle Pollutions in Aqueous Systems Using a Chiral Plasmonic Optical Tweezers
- Translational research: Incorporating experimental evidence on altered reward and punishment sensitivity into behavior management strategies for ADHD
- Using symmetry to enhance quantum batteries and heat engines
- やんばるの森から放出される揮発性有機化合物が大気環境へ与える影響の機械学習的評価
- 距離空間における非線形偏微分方程式の研究
- 巧緻運動(手指の細かい動き)における脳-脊髄神経回路の新規制御機構の解明
- 真珠形成における遺伝子発現調節機構を1細胞レベルで解明する
- 神経伝達物質輸送速度に伴って変動するシナプス素量成立時間の多様性とその生理的意義
- 水晶体線維細胞分化を誘導するFGFRリガンドの探索
- 脊椎動物はいつキチンを失い、粘液層定着型の腸内細菌との共生関係を成立させたか?
- 腸内細菌叢制御を目指したV型線毛付着機構の理解と抑制法開発
- Building a 1D chain of Rydberg atoms via an optical nanofibre interface
- 光情報伝達の主要蛋白である錐体型PDE6変異による視細胞変性の分子機構の解明
- Large Amplitude Oscillatory Extension (LAOE)
- 加齢に伴う脂肪組織内M1マクロファージ分化感受性変化とその相互作用機序に関する研究
- Economic model of the spillover effects of protected areas on deforestation activity
- Spatiotemporal dynamics of acetylcholine activity in adaptive behaviors and response patterns
- キラル誘導体イオン移動度質量分析によるD-アミノ酸イメージング法の開発
- クンクラゲ筋肉の多角的解析によりせまる筋肉の祖先的形質
- Emergence, adaptation and cognitive cost in collective cognitive behavior
- Illusory olfactory stimuli to probe pathway-specific stimulus encoding
- A general strategy to synthesize semiconducting polymers within one minute
- On combinatorics, the algebra, topology, and geometry of a new class of graphs that generalize ordinary and ribbon graphs
- Investigating the role of projectile density in impact cratering with a focus on low-density projectiles.
- Self-Organizing Wave Formation in Quasi-2D Shear Turbulence
- Exploring the spin-orbit interaction of light in the whispering gallery mode hollow-microcavities

- Elucidating the spatiotemporal activation of microtubule nucleation at mitotic centrosomes
- 身体的接触による愛着形成の神経メカニズムの解明
- Unlocking genomic treasures in deep-sea fungi
- AIプロテオミクスを利用した緑内障視神経障害関連リン酸化タンパク質の解析
- Towards a real implementation of quantum network systems
- Advancing Shrimp Farming: Environmental DNA and RNA as biomarkers in shrimp aquaculture
- 初期胚紡錘体の特殊構造を作る染色体派生シグナルの機能
- インフルエンザウイルス感染後の二次性細菌性肺炎が高齢で重症化するメカニズムの解明
- アイドリング脳の作動原理
- Next generation XUV source for time-resolved nano-ARPES and PEEM
- Toward the development of a high-throughput reconstruction method of termite gut bacterial genomes
- 腸内微生物の実験的置換によるシロアリ進化の追体験
- 1細胞蛍光強度測定法を応用した細菌表面性状の新規測定法の開発
- 細胞膜上シグナル変換のホットスポット検出のための1分子プローブライブラリーの開発
- Analysis of blow-up phenomena for nonlinear parabolic equations
- Evolutionary forces driving the diversity of protist symbioses
- Extending the scope of ancestral sequence reconstruction for protein engineering
- Health Policies, Human Capital Accumulation, and Intergenerational Mobility
- Hydrodynamic effect on the production and fate of coral mucus
- Impact of mitochondria dysfunction in motoneuron death in Amyotrophic lateral sclerosis: a new opportunity for biomarker and therapeutics discovery
- Irreducible representations of cyclotomic Hecke algebras
- Population genomics study of the cosmopolitan appendicularian *Oikopleura dioica* in northwest Pacific for uncovering population structure and genetic diversity
- Quasiconformal and Sobolev mappings on metric measure spaces
- Repeated evolution of ultra-fast mandibular attacks in termites
- Statistics as a useful resource for work production: the Pauli engine
- The function of the NCM-HVC connection and its retraction in juvenile songbirds
- 刺胞動物を用いた内分泌系の起源解明:PRXamide 神経ペプチドの祖先的機能は何か?
- 新規ウイルスベクターによる細胞分化誘導およびリプログラミング誘導の制御と特性解析
- 翻訳速度変化を介した新生タンパク質の転座制御機構の解明
- Weak notions of curvature-dimension conditions on step-two Carnot groups
- Connecting elastic and inertial polymeric turbulence
- 局所ストレスが茎頂で誘導するDNAメチル化とそれを司る移動性シグナル分子の解析
- 頭足類の視覚システムにおける発達過程の構造的・分子的な解析
- The role of polymer conformational history on the flow behaviour of polymeric liquids
- マイクロ流路内における密度差起因の循環流の発生条件特定および理論構築
- The 2nd brick-Brauer-Thrall conjecture via tau-tilting theory and representation varieties
- Light-Driven Cellulose Nanocrystals Enabled by Photochromic Molecular Switch
- Effects of transverse spin and chirality of light by particles trapping near the evanescent field
- Enzyme engineering to protect unstable metabolic intermediates in synthetic pathways
- 最も多様なアリ, ウロコアリ属の比較研究から迫る, 社会生活史戦略の多様化メカニズム
- Phenotypic consequences of a modern human-specific amino acid substitution in ADSL
- Uncovering the evolutionary patterns of the Aculeata stinger
- Phylogenomics of scale insects and their evolution with endosymbiotic microorganisms
- Elucidating the role of Cnot3 in regulating social behavior in Autism Spectrum Disorder
- Investigating the Trustworthiness of Deep Pre-trained and Self-supervised Learned Model.
- Machine learning tool to facilitate microplastic analysis
- 懸濁液の衝撃誘因硬化応答の粘弾性挙動に関する実験研究
- Impact of Genetic Variations on Muscle Physiology During Hominin Evolution
- アリ化石の記録から見出す進化史上の絶滅パターン
- アリ類の生態・行動・社会組織に関連した消化器系の進化
- イネにおけるストレス応答のエピジェネティック制御の解明
- クシクラゲPou転写因子群の機能解析で迫る神経の進化的起源
- クマノミの色素形成の可塑性の基盤
- サンゴ礁魚類群集の共生と競争を制御する色彩パターンの解明
- ダイヤモンド中のスピンを用いた極低温量子マイクロ波増幅装置の開発
- ランドスケープジェネティクスの手法を用いた共生メタコミュニティ維持システムの解明
- 営巣型別の行動比較に基づくシロアリの社会性進化プロセスの解明
- 乾燥起因の圧縮下にある粒子安定化液滴の合一に要する臨界分離圧の解明
- 気候変動による海産魚類の適応能力を見極めるため, 未来の海を模した海洋環境を探る
- 気候変動による熱波が珊瑚礁の魚に及ぼす影響の解明
- 記憶における自発的活動の役割
- 共生宿主細胞を用いたサンゴ-褐虫藻共生系のモデル確立と分子機構の解明
- 極度の神経可塑性から保護された記憶:人工冬眠からの洞察
- 細胞周期依存的なダイニンアダプターのスイッチング機構
- 細胞膜修復因子の網羅的同定と膜損傷部位への新規輸送機構の解明
- 小胞体-ミトコンドリア連携を起点としたカルシウム流入に対する細胞応答の理解
- 植物化学, 草食動物免疫, 捕食者行動に対する微生物多様性のカスケード効果
- 身体モジュレーションと神経モジュレーションによる心身機能の改善
- 前障による大脳皮質ダイナミクスの制御とそのセロトニンによる神経修飾
- 相互作用が競合する2次元量子磁石のスピン励起性質の探求
- 超解像蛍光イメージングを志向した水溶性ナノグラフェンの合成
- 報酬や罰の感受性に基づくADHDのアセスメント法の開発, および実用性の検討
- 縫線体性感覚の神経?星状膠細胞ネットワークの機能発達における幼少期ストレスの影響
- 予防と治療:慢性期でんかん発作を予防するための潜伏期間の活用
- 乱流が及ぼす珊瑚礁魚類の摂食行動とエネルギー収支への影響解析
- 再生可能エネルギーの統計物理学:間欠性と極端事象
- 細胞膜損傷に起因する細胞老化における新規miRNAの役割
- 腸管Th細胞の細胞膜損傷適応機構とその生理学的意義の解明
- 最小タンパク質の設計:最小ロスマンフォールドの探索と小型抗体への応用
- 機能性ペプチドグラフトによる多機能抗真菌酵素の創製
- 新たなレベルの制御?混雑した微小環境における一過性のクレブスサイクル複合体の追跡
- 後生動物の進化におけるHIF経路の起源と保存性
- 有機蓄光応用のための発光メカニズムと分子骨格の探求

基盤研究(S)
挑戦的研究(開拓・萌芽)

若手研究

特別研究員奨励費

- ダイヤモンド中の不純物スピン集団を用いたマイクロ波一光子変換器の開発
 - 数値モデルを用いたアストロサイトによるシナプス機能及び可塑性への寄与の解明
 - BrainMaps - 新規モデル生物の脳地図のための統一ウェブプラットフォーム
 - 稚魚生理学に基づく沿岸域モニタリングシステムの開発
 - 膝β細胞におけるmRNAの分解制御に着目した糖尿病の病態メカニズムの解明
 - ワーキングメモリパラダイムを用いた注意変調の神経機構の解明
 - 海洋生物文化生態学。海洋地域における生態学的責任の比較研究
 - ポリフルオレン誘導体を用いた機能性蛍光材料の開発
 - 海馬CA1層におけるアストロサイト多様性を創出する分子基盤の探索
 - 頭足類における特殊化した付属肢 触腕の進化過程
 - 軟質粒子懸濁液の流動現象を明らかにする流体応力の非定常全視野計測法の創出
 - 偏頭痛モデルとしての皮質拡張性抑制がもたらす海馬性記憶の障害とそのメカニズム
 - Elastic turbulence in micro canopy flows, effects of rheology and geometry
 - PIP2および代謝型グルタミン酸受容体の分布様式に基づくIP3産生過程の計算モデリング
 - Tracing the brain mechanisms of affective touch.
 - De novo generation of group I intron synthetic sequences through deep generative models
 - 巧緻運動(手先の細かい動き)に関わる脳-脊髄神経回路群の同定とその制御機構の解明
 - 先端分光計測と精密合成を活用したグラフェンナノリボンの微細構造と機能の制御
 - 非局所構造を有する放物型方程式の新潮流
 - アフリカ三大古代湖におけるシクリッド科魚類の適応放散を駆動した摂餌形態と機能
 - RNAサイレンシングを介した生殖組織・細胞内ダイナミクス
 - 植物の不均一環境変動への応答を支える多層的エピゲノム制御機構
 - 推定と制御の双対性に基づく感覚野と運動野の神経回路機構の解明
 - 先端バイオイメージング支援プラットフォーム
 - 低温状態での脳機能動態
 - 冬眠生物学2.0 総括班
 - 不均一環境変動に対する植物のレジリエンスを支える多層的情報統御の分子機構
 - 予測と行動の統一理論の開拓と検証・総括班
 - 音声コミュニケーション機能を段階的に創発する神経発達機構
 - 大規模数値計算と実物質データで切り開くランダム量子フラストレート系の新奇磁性現象
 - 自由エネルギー原理を拡張したメタ認知適応に関する理論及びロボット実験研究
 - アストロサイトによるシナプス強度不均衡の創発と学習における役割
 - Study of chirality-dependent optical forces enabled by spin-orbital angular momentum conversion in the nonlinear optical trapping of VO2 particles
 - 共生が必要・不要な近縁種から探る共生における物質の役割
 - 心血管系の健康ショックの年齢、生存および労働市場の結果
 - 日本における 連結性の保全: 気候変動下での景観連結性の変化予測
 - 凍結電子トモグラフィーによるサンゴ-藻類内部共生の超微細構造的特徴の解明
 - クマノミのメガコロニーの機能解析: 行動可塑性を明らかにする 新しいタイプの社会組織
 - 中心体増幅の監視機構とその異常に伴う細胞がん化の解明
 - 体細胞モデルとは異なる初期胚型染色体分配機構の理解
 - 職蟻の行動パターンの種間比較によるシロアリ営巣戦略の再区分
 - 越シナプス順行性ウイルスとカルシウムイメージングを用いて、野生型およびASDモデルマウスの脳におけるA-touch神経回路基盤とその社会性への影響を解析する
 - こどものポジティブな行動を促す接し方のプログラム開発: 地域住民と協働創造
 - フィリピンでの河川産魚類相、特に通し回遊魚類相の解析
 - 流体内非定常応力場計測に向けた流動復屈折現象の時間応答性の解明
 - 遺伝子治療用リボスイッチ制御化合物の構造展開
 - 細胞の複雑性の原動力としての共生
 - Deciphering the evolution, cellular biology and biogeochemistry of symbioses in anaerobic eukaryotes
- 研究活動スタート支援
- 国際共同研究加速基金(帰国発展)
- 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))
- 国際共同研究加速基金(海外連携研究)
- 学術変革領域研究(A)
- 学術変革領域研究(B)
- 日本学術振興会調査研究費
- 笹川科学研究助成金
- 内藤記念科学奨励金・研究助成
- 内藤記念女性研究者研究助成金
- マツダ研究助成
- 長尾自然環境財団
- イハラサイエンス 中野記念財団 研究助成
- 橋渡し研究プログラム
- スキャンジナビア・ニッポン ササカワ財団助成
- HFSP研究グラント

17. 関連公益法人等に関する明細

1. FRIENDS OF OIST, INC.

(1) 業務の概要

- ① 沖縄科学技術大学院大学及び米国、日本及び海外の共同研究者が実施する研究及び教育の活動支援を通じて、世界の課題に取り組む科学技術を促進する。
- ② 米国での沖縄科学技術大学院大学及びその研究プログラムの認知度を高め、国際的に影響を与えることにより、日本発の科学技術による研究と教育のグローバル化を推進する。
- ③ イノベーション、起業家精神、世界のニーズに対応する科学技術の知識の活用を支援する環境を促進することで、沖縄の自立的な経済成長に寄与する。

(2) 法人と学園との関係

理事等のうち、学園の役員又は教職員経験者の占める割合が三分の一以上である公益法人等

(3) 法人に対する役員の関係

当学園の元理事の一人であるジェローム・フリードマン氏は、Friends of OIST, INC.の理事を務めております。

(4) 役員氏名

- ① ジェローム・フリードマン 理事
- ② マクリン・幸子 理事

(5) 基本財産の状況

法人の基本財産に対する出えん、拠出、寄附等及び法人の運営費、事業費等に充てるために沖縄科学技術大学院大学において負担した会費、負担金等はありません。

(6) 法人に対する取引の状況

該当はありません。

2. Okinawa Institute of Science and Technology Foundation, INC.

(1) 業務の概要

米国内において企業・個人から幅広く寄附金を募ることにより、

- ① 沖縄科学技術大学院大学における科学技術研究及び関連プログラムの向上と結びつきの強化を通して、世界規模での科学の飛躍的な発展を促進する。
- ② 沖縄科学技術大学院大学を通じて米国人に沖縄の継続的発展を自発的に支援し日米関係を深める為の力を与える。

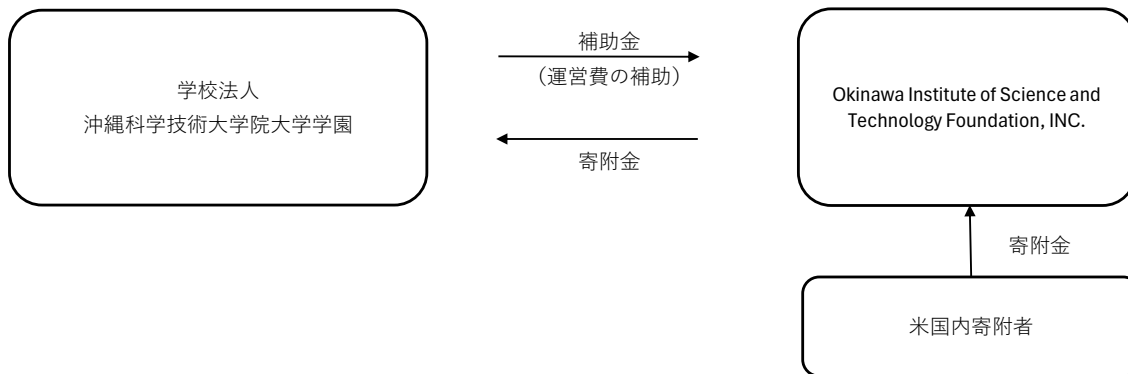
(2) 法人と学園との関係

事業収入に占める学園との取引に掛かる額が三分の一以上である公益法人等

(3) 役員氏名

- ① 上島 剛 理事長
- ② ジュリー・メイヤー・ライト 副理事長
- ③ ロンダ・ドナホー 理事(財務担当)

(4) 取引の関連図



(5) 基本財産の状況

法人の基本財産に対する出えん、拠出、寄附等及び法人の運営費、事業費等に充てるために沖縄科学技術大学院大学において負担した会費、負担金等の明細は以下のとおりです。

運営費の補助 USD187,500

(6) 法人に対する取引の状況

- ① 法人に対する債権債務の明細
該当ありません。
- ② 沖縄科学技術大学院大学が行っている法人に対する債務保証の明細
該当ありません。
- ③ 法人との取引の明細
寄附金の受領 1件 6,500,000円

